シンポジウム

写真家 井上隆雄の視座を継ぐ

―仏教壁画デジタルライブラリと芸術実践―

2023年3月12日(日)

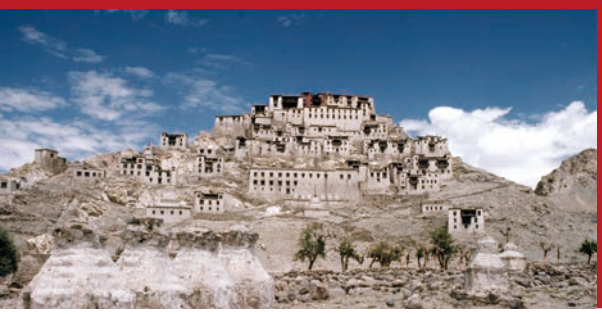
13:00▸17:00　開場 12:00~　展示 10:00~

参加無料　要申込(裏面参照)

国立民族学博物館

シンポジウム
第4セミナー室
定員50名(先着順)
オンライン300名(先着順)

展示
第3セミナー室
(10:00~17:00)



人間文化研究機構　共創先導プロジェクト（共創促進研究）
「学術知デジタルライブラリの構築」
国立民族学博物館拠点（X-DiPLAS）

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts — founded in 1880 —

芸研 GEISHIKEN
Archival Research Center
Kyoto City University of Arts

NEW CAMPUS 2023
京都芸大は移転いたします

写真家・井上隆雄は、1970 年代にインド・ラダックとミャンマー・バガンを取材し、仏教寺院壁画を中心としてその視座をフィルムにおさめた。それらの写真には、半世紀前の壁画の情報が確かな技術で記録されている。井上隆雄の眼差しを次世代に継いでいく可能性と意義を考える。

井上隆雄 (1940-2016)

1940 年滋賀県生まれ。1965 年京都市立美術大学（現・京都市立芸術大学）卒業。1973 年より写真家として独立。主に民族芸術、仏教美術などを企画撮影し、アジアを中心に海外各地に取材。その後、日本、京都などにも撮影領域・視点を拡げる。晩年は、自然の撮影をライフワークの一つとして積極的に取り組んだ。2016 年没（76 歳）。1984 年京都市芸術新人賞、2000 年日本写真学会賞（東陽賞）・京都美術文化賞、2002年京都府文化賞（功労賞）、2004年京都市文化功労者表彰受賞。

展示

- ▶ 井上隆雄写真資料
- ▶ 井上隆雄写真に基づく仏教壁画模写作品
  - ・ラダック：アルチ寺三層堂・般若波羅蜜仏母
    サスポール石窟第 3 窟・十一面千手千眼観音
  - ・バガン：ウェッチーイン・グービャウチー寺・仏伝図
- ▶ サスポール石窟第 3 窟・模型（1/8 スケール）
- ▶ 仏教壁画デジタルライブラリ
- ▶ カメラ実機

プログラム

10:00　企画展示（第3セミナー室）　開室

12:00　会場（第4セミナー室）　開室・受付

13:00　**開会挨拶**　吉田憲司　国立民族学博物館　館長

13:05　**趣旨説明**　正垣雅子　京都市立芸術大学　准教授

13:20　**発表**

「井上隆雄写真資料のデジタルアーカイブ化支援」
石山俊　国立民族学博物館　プロジェクト研究員

「X-DiPLAS が構築する画像デジタルライブラリの特徴」
丸川雄三　国立民族学博物館　准教授

「井上隆雄アーカイブ活動の実践と課題」
岡田真輝　京都市立芸術大学・井上隆雄写真資料アーカイブ　研究員

「井上隆雄撮影のバガン壁画と可能性」
寺井淳一　東京外国語大学　特別研究員

「井上隆雄写真の活用　模写による壁画表現の再現」
正垣雅子　京都市立芸術大学　准教授

15:00　**展示解説**

正垣雅子　京都市立芸術大学　准教授　ラダック壁画の模写制作
翟建群　京都市立芸術大学　特任准教授　バガン壁画の模写制作
丸川雄三　国立民族学博物館　准教授　仏教壁画デジタルライブラリ

15:30　**ディスカッション**「デジタルライブラリと芸術実践の可能性」
モデレーター　末森薫　国立民族学博物館　准教授

16:30　**閉会挨拶**　飯田卓　国立民族学博物館　教授

申込方法

下記 URL または QR コードにアクセスいただき、
必要事項をご記入の上、お申込みください。

Google フォーム
https://forms.gle/ERkewTNmojhtHG9NA

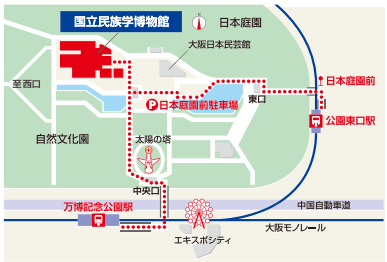
申込期間　2023年2月1日(水)～3月7日(火)

掲載する写真はすべて井上隆雄写真資料です。
本シンポジウムは、京都市立芸術大学特別研究助成（2021-2022）、地域研究画像デジタルライブラリ（DiPLAS、2021）および（公財）平和中島財団アジア地域重点学術研究助成「井上隆雄撮影のラダックおよびバガンの仏教壁画に関する表現研究と芸術実践」（2022）の成果によるものです。

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10号 1 番
国立民族学博物館研究協力課共同利用係
kikourenkei@minpaku.ac.jp

交通のご案内

大阪モノレール	「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約15 分
バス	阪急茨木市駅・JR 茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
乗用車	万博記念公園「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約５分

※万博記念公園各ゲートで、当館でのシンポジウムに参加する旨をお伝えください。
　同園内を無料で通行できます。
※当館の展示をご覧いただくには別途観覧料が必要です。
※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。